

令和2年度

全国遠隔教育フォーラム

遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証成果報告会

令和3年3月8日(月)
熊本県高森町

発表の流れ

- 1 熊本県高森町の遠隔教育のあゆみ
- 2 本年度の遠隔教育の取組
- 3 臨時休校中のオンライン学習
- 4 新たな教育の風を興す遠隔教育

1 熊本県高森町の遠隔教育のあゆみ

- 平成27年度～平成29年度 文部科学省委託
「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」
 - * 小規模校の課題解決に向けた実証研究
 - * 同校種、同学年の教室を継続的かつ日常的にテレビ会議システムで接続
 - * 協働的な学びの充実、免許外教科担当者の支援、ALTの効果的な活用**教室の枠を超えて一体感を持って生き生きと学び合う児童生徒の姿**
- 平成30年度～平成31年度 文部科学省委託
「学校ICT環境整備促進実証事業(遠隔教育システム導入実証研究事業)」
 - * 専門性や多様性を育む遠隔教育の在り方について実証研究
 - * 専門家(機関)との接続による目的意識を持った深い学びの実現
 - * 他地域との接続による地域の良さを生かした教材開発・指導法の工夫**目的意識や相手意識を持って主体的に学び合う児童生徒の姿**

1 熊本県高森町の遠隔教育のあゆみ

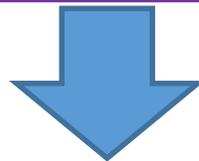
本年度の取組の方向

* 継続によるさらなる充実

- ・ 社会教育施設等との質の高い遠隔授業
- ・ 教科・単元のねらいに応じた遠隔授業における主体的・対話的で深い学びの実現

* 個に最適化された教育の実現

- ・ タブレット端末一人1台環境での1対1の遠隔教育
- ・ 特別な配慮を要する児童生徒を支援するための遠隔教育



○ 令和2年度 文部科学省委託
「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」
(遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証)

2 本年度の遠隔教育の取組

分類A：多様な人々とのつながりを実現する遠隔教育

取組①：A 2 遠隔合同授業

- ・小学6年理科（東学園-豊野小・東桜島小）
- ・小学6年総合（東学園-中央小）・中学2年技術（東学園-高森中）

分類B：教科等の学びを深める遠隔教育

取組②：B 1 他校で勤務しているALTの帯学習での継続的活用

- ・小学6年英語（東学園-ALT）

取組③：B 2 中学校技術科教員によるプログラミング学習支援

- ・小学3年総合（中央小-高森中技術科教員）

取組④：B 2 外部専門施設との接続

- ・小学2年国語・生活（東学園-親の職場）
- ・小学6年理科（東学園-御船恐竜博物館）
- ・小学6年総合（東学園-高森町社会福祉協議会）
- ・中学1年理科（高森中-阿蘇火山博物館）
- ・中学2年技術（東学園・高森中-トマト農家）

分類C：個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育

取組⑤：C 2 児童生徒の個々の理解状況に応じて支援する遠隔教育

- ・小学6年（中学校2年）「オンライン英会話」（教育課程外）

取組⑥：C 4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育

- ・病気療養児に対する支援（該当する児童生徒）

取組① 分類A2 遠隔合同授業

中学2年 技術「生物育成～ミニトマトの検証栽培～」
「情報の技術～自動灌水システムの構想～」



遠隔教育のねらい

- 2つの学校の環境を考えながら、目的に合わせた管理技術を検討していく。
- 農家の方と接続することで、生徒が設定した目的に合わせた栽培方法や管理技術をより専門的に学ぶ。

成果

- ・目的に合わせたミニトマトの栽培では、生徒が自ら目的を選択し、その目的を達成するための栽培環境を検討することができた。
- ・テレビ会議システムを活用し、それぞれの学校の栽培環境を確認しながら実施することができた。また、栽培活動が始まった後も栽培の記録を共有していくことでミニトマトの栽培状況を把握することができた。

取組② 分類B1 A L T とつないだ遠隔学習

小6 英語



遠隔教育のねらい

- 少人数の学級では、英語を使ってコミュニケーションを行う場合、多様な考えや表現に触れることが少ない。
- 週1日のA L T 来校となっており、A L T との交流機会が限られてくる。

- 授業のSmall Talk の場面において、A L T と遠隔交流を通じて、英語でのより自然なやりとりを体験することで、思考力・表現力の育成を図る。

成 果

帯活動での継続的な接続時（Small Talk）を活用して、コミュニケーションスキルを向上させることができた。さらに、スピーチプレゼンテーションにも遠隔教育システムを用いてA L T に参加してもらうことにより、より自然な英語に触れる機会を多く持てたことはとても良かった。

オンライン英会話



形態等

- 小6（実証事業）と中2（町負担）全員を対象に実施
- 朝活動や放課後活動の時間で実施(教育課程外の活動：25分、週2回)
- ネイティブスピーカーとのオールイングリッシュレッスン
- 個人のレベルに応じたカリキュラムを選択
- 短期集中（留学をイメージ、短期間に英語のシャワーを浴びる）

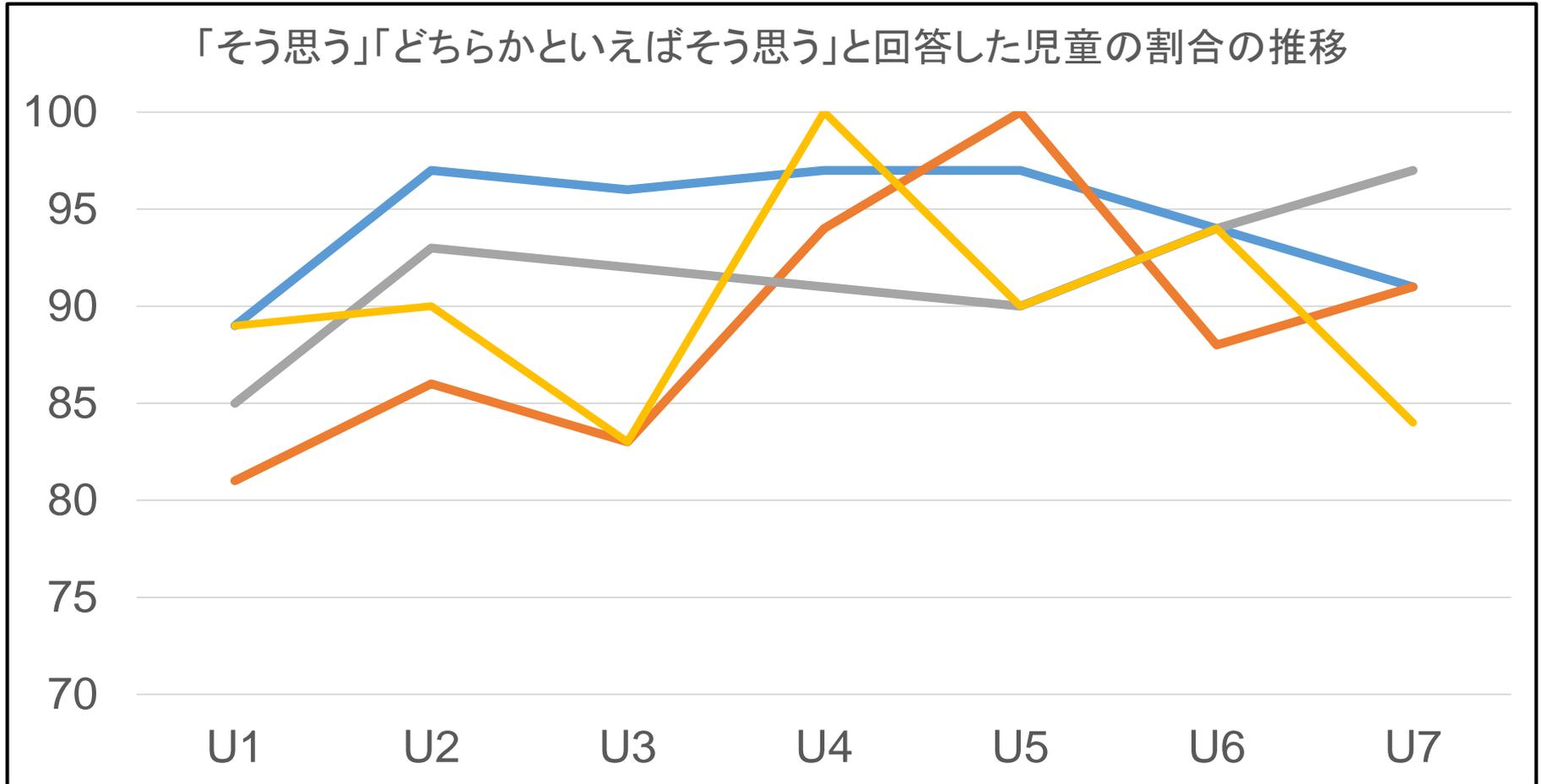
遠隔教育のねらい

児童生徒のペースや習熟度にあわせて、ネイティブスピーカーとのオールイングリッシュレッスンをを行うことでリスニングとスピーキングの技能向上を図る。

接続先

フィリピンを拠点とする日本人向けのオンライン英会話スクール（株式会社QQイングリッシュ）

【効果の検証】 児童の意識調査の結果



設問① 楽しく学習することができた

設問③ たくさん英語を話すことができた

設問② 自信を持って話すことができた

設問④ 先生の説明や指示が分かった

取組⑥ C4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育

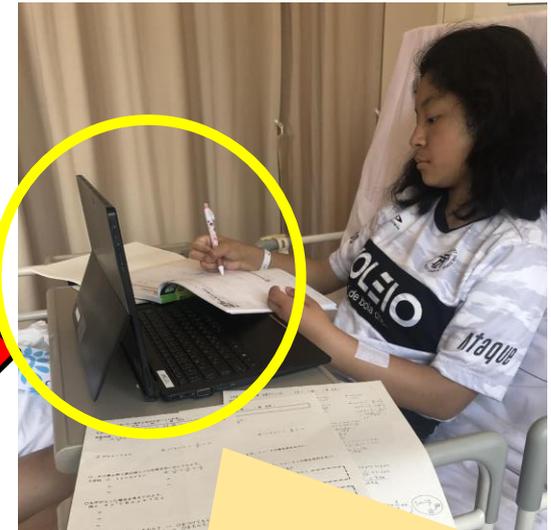
【遠隔学習を実施する理由・ねらい】

怪我や病気の療養などために長期間学校を欠席することになった児童生徒の学習の機会を確保する。遠隔学習を通じて、入院期間中でも、主体的な学びを実現させ、知識及び技能を習得させることをねらいとした。

【遠隔学習の内容、その中で実施した活動】

社会科 明治維新と立憲国家の歩み
数学科 文字式の計算

- ・ タブレット端末
- ・ インターネット回線



- ・ タブレット端末
- ・ インターネット回線 (ポケットWi-Fi)

取組⑥ C4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育

【遠隔授業を効果的なものにするための、具体的な学習活動】

①一斉授業の場面・病院と教室（板書の様子）をつなぐ・教師の説明を聞く



知識・技能の習得



②班活動の場面・病院と教室（グループの生徒の様子）・個人の考えを伝え合う



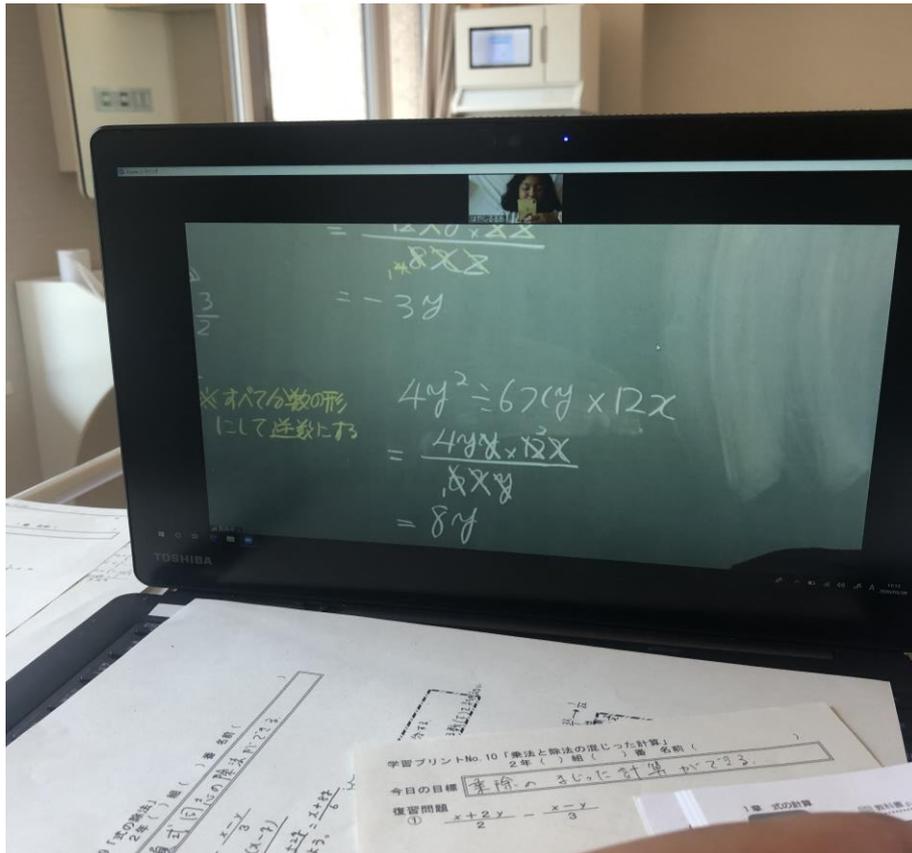
思考力・判断力の育成



取組⑥ C4 病弱の児童生徒を支援する遠隔教育

【遠隔学習を実施した効果】

- ①怪我や病気で入院する生徒が2名いたが、それぞれの生徒の学習の機会を保障できた。
- ②教科の内容だけでなく朝の会などの時間の接続を行うことで学級とのつながりを保つことができ、入院した生徒の不安感の解消にもつながった。



令和2年度 遠隔教育実施事業（全児童生徒対象）

学校	教職員のテレワーク実施環境の整備 オンライン学習実施に必要な物品等の助成		
家庭	レンタルモバイルWi-Fiルーターの貸出 光回線の工事費の無償化 ※町負担 光回線の通信費の無償化 ※町負担		
児童生徒数	保護者世帯数	WI-FI レンタル	ブロードバンド 回線工事
448	276	40(14.5%)	19(6.9%)

3 臨時休校中のオンライン学習

【学校の対応】



3月 校内研修の様子

3月上旬

- Wi-Fiへの接続方法、Web会議の利用方法の周知
 - ・プリントを配付、学校ホームページに接続手順の動画掲載
- タブレット端末の環境整備
 - ・家庭のWi-Fi接続を可能にする
 - ・各種コンテンツのアイコン整理
 - ・接続テスト実施

3月中旬 校内研修、模擬授業実施



基本的な教室設営

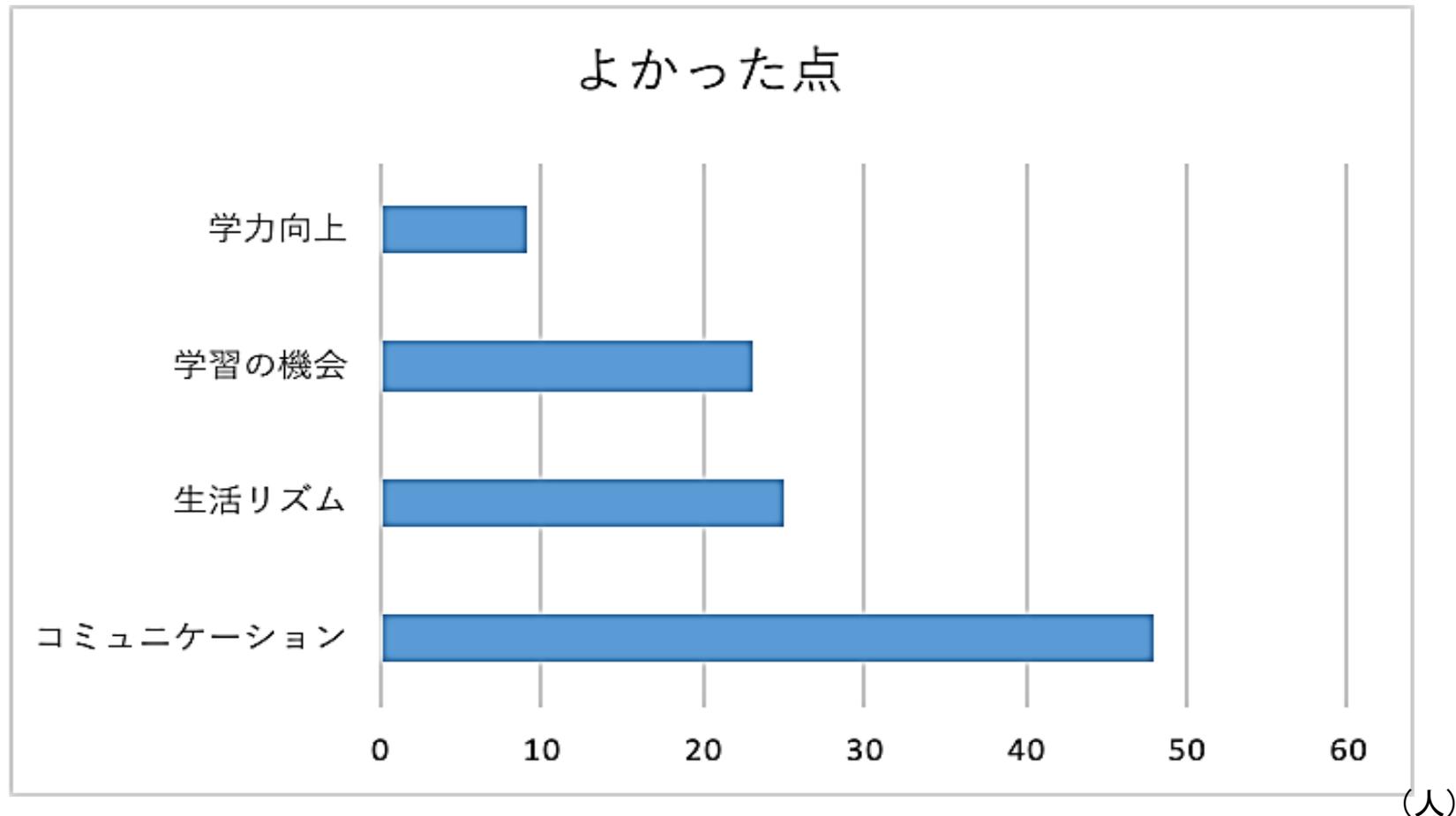
3月20日～

- 全学年（1～9年）でオンライン学習開始
- ミーティングIDを全学年に割り振る。
- 朝・帰りの会を毎日実施
- 学年ごとの時間割をExcelシートで作成⇒オンライン学習に関する気付きを入力
- 低学年向け配信動画作成⇒地域ローカルチャンネル（CATV）にて全家庭配信

3 臨時休校中のオンライン学習

町全体のアンケート調査結果

オンライン学習を受けてよかった点についての自由記述を分類



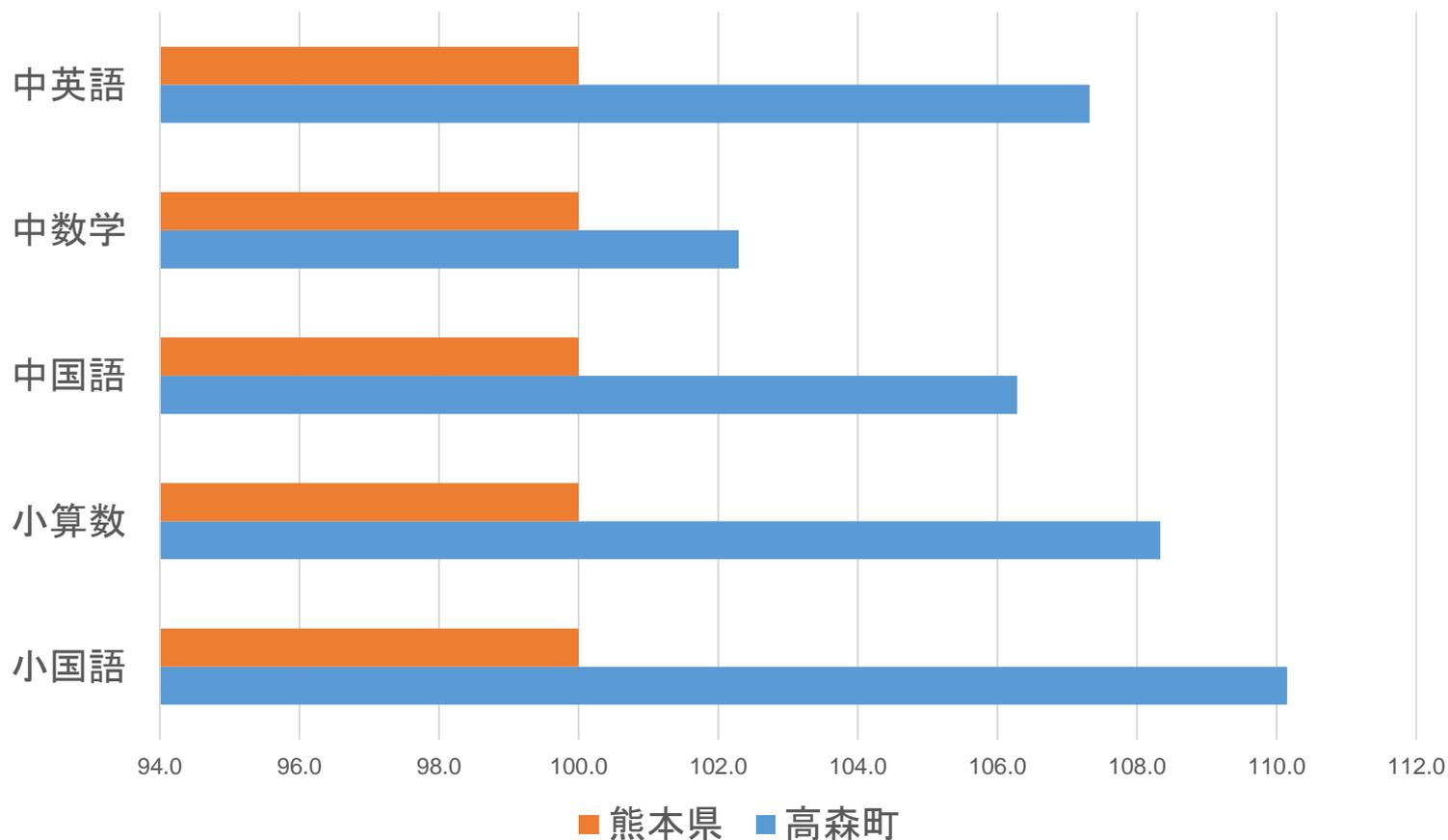
よかった点

○友達や教師とのコミュニケーションの機会を評価している家庭が多い

3 臨時休校中のオンライン学習

令和2年度 熊本県学力調査

令和2年度 熊本県学力調査
熊本県平均を100とした場合の高森町の値



4 新たな教育の風を興す遠隔教育

高森町タブレット図書館

(熊本日日新聞社・高森町・高森町教育委員会連携協定)



主な活用場面

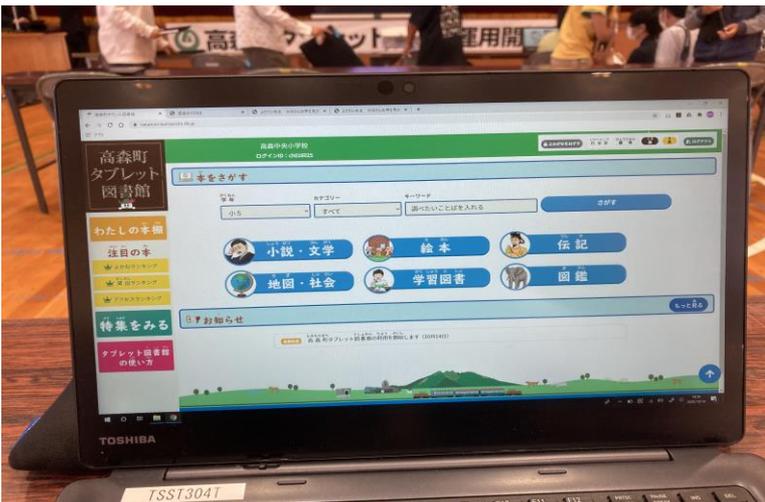
- ・ 読書週間（毎月実施）や朝読書
- ・ 休み時間（自由読書として）
- ・ 授業時間（主に調べ学習）
- ・ 家庭での自由読書や調べ学習

G I G Aスクール構想の中での意義

- ・ 一人一台のタブレット端末を活用した個別最適化された学び

コロナ禍での意義

- ・ 自分のペースで、どこでも読書(3密を避ける)
- ・ 紙ベースの書籍の回し読みに対するウィズコロナ時代のツール



ご清聴ありがとうございました

